

民主島根

2017年
1.1
第1278号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

早期の解散・総選挙 “予断許さず” 大平衆議院議員 勝利と比例議席増必ず

「野党連合政権」の扉開こう

TPP承認・関連法、年金カット法、カジノ推進法など、安倍政権の民意無視、国会軽視の暴挙に怒りが収まらないまま新年を迎えました。

今年を、安倍政権を退陣させ、憲法を守り生かす政治を実現する大きな一歩を踏み出す年にしましょう。

昨夏の参院選で、野党と市民が大義の旗を掲げ、本気の共闘を組めば、安倍政権を打倒できることが示されました。

早期の解散・総選挙も取り沙汰されるなど緊迫した情勢です。市民と野党の共同と日本共産党の躍進で「野党連合政権」の扉を開き、新しい政治をつくる年にしましょう。

11年ぶりの中国ブロック議席奪還から2年、約40回の論戦を通じて中国地方に暮らす皆さんの声を安倍政権にぶつけ、願い実現へ全力を尽くしてきました。

安倍政権による「異常な対米従属」「異常な財界中心」の姿勢、民意無視の姿勢にその都度ぶつかって、悔しい思いをしつづ



来る総選挙で党の大躍進を 衆議院議員 大平よしののぶ

も、そんな安倍暴走政治は許さないという市民運動と野党共闘が、国会でも中国5県の各地でも、ダイナミックに広がっていき、そうした現場に幾度となく、立ち会うことができました。

この間の日本共産党の大躍進が、国民のたたかいと結んで政治を動かす大きな力となっています。

来るべき総選挙で、さらに皆さんの期待にこたえられるよう大躍進を勝ち取るためにも、日本共産党をもっと大きくしなければ。次代を担う若者たちと大いに語り合い、仲間を迎える先頭に立つ

決意です。

世界では、核兵器の違法化に向けた流れが大きく発展しています。2017年を画期的な成果を勝ち取る年にするために、被爆者のみなさんの命をかけた闘いを引き継ぎ、多くの皆さんとともに力を合わせて頑張りましょう。本年もどうぞよろしくお願いたします。

安倍暴走政治ストップの年に 衆議院1区予定候補 岩田たけし



衆議院1区予定候補

「政治には人の命がかかっている」—この言葉を肌身で感じてきました。

しかし、安倍政権は、カジノ法、TPP承認、年金カット法、自衛隊のPKO活動に新任務として「駆けつけ警護」など付与する戦争法の具体化、住民の安全を後回しにする原発再稼働推進、負担増と利用を制限する

医療・介護の連続改善など、平和、くらし、将来を脅かす政治を強行してきました。

「誰もが安心して暮らせる社会実現」に向け、来る衆議院選挙で、日本共産党の躍進、野党と市民の力で、安倍政権を打倒し、自民党政治を終わらせましょう。

野党連合政権実現し、新しい時代を開くため、全力で頑張る決意です。本年もよろしくお願いたします。

鼓動

年末は毎年何かと慌しく、年賀状は大晦日から元日にパソコンに向かって作成している。年賀状ソフトには多くの賀詞が入っており、「その違いは何だろう」と思い、調べてみた▼年賀状の冒頭に用いられる賀詞には、「賀正」「迎春」「謹賀新年」「恭賀新年」などがある。その他にも、一文字の賀詞に「寿」「福」「賀」「春」「禧」、二文字には「新春」「初春」「賀春」「頌春(しようしゅん)」「慶春」「寿春」、四文字に「謹賀新春」「恭賀新春」「敬頌新禧(けいしようしんき)」など…▼これらのうち、「寿」「福」などの一文字の賀詞、「賀正」「迎春」などの二文字の賀詞は、友人や同僚など親しい間柄や目下の相手には使えるが、目上の相手に対してはふさわしくないらしい。その理由は、「寿」であれば「めでたい」「福」は「幸せ」、「賀正」は「新年を祝う」、「迎春」は「新年を迎える」と言っているに過ぎず、相手に対する敬意や丁寧さに欠けるからというものが▼いっぽう、四文字の賀詞は、「謹賀新年(つつしんで新年の喜びを申し上げます)」「恭賀新年(うやうやしく新年をお祝い申し上げます)」「敬頌新禧(うやうやしく新年の喜びをおたえ申し上げます)」というように、丁寧さもあり、敬意も表しているため、目上の相手に使うことができるということ▼四文字の賀詞は、目上の相手に限らず、友人や目下の相手にも使える。また、文章や英語の「Happy New Year」も相手を問わず使えるため、相手によって賀詞を使い分けることが難しい場合は、四文字・文章・英語の賀詞を使うのが無難のようだ。「民主島根」新年号の賀詞は、「謹賀新年」にした。(遠)



謹賀新年

ゴマカシの安倍内閣退陣を 衆議院2区予定候補 むこせ慎一



衆議院2区予定候補

昨年まで、尾村利成県議秘書を務めてきました。活動を通じて寄せられる県民の切実な声、悲鳴。尾村県議の政治信条

議案法案の呼び名も、「ゴマカシ」に重きが置かれていと感じます。

内閣提出議案では、「環太平洋パートナーシップ(TPP)条約」↓実態は主権喪失条約、「将来年金確立法」↓年金カット法。昨年は「安保法制」↓戦争できる法制…。国会議員提案議案でも、「特定複合観光施設

(IR)整備促進法」↓実態は賭博解禁法、「部落差別解消推進法」↓部落差別永久化法…。

自由民主党は、自らの看板「自由」も「民主」も捨て、異常な「アメリカいなり」「財界中心」政治へ突進しています。

新しい年を、この2つの異常を正し、政治を変える出発点にしようではありませんか。

市民と野党が力を合わせ、民主主義と暮らしを取り戻しましょう。

今年中間選挙ラッシュ 4市6町で議席確保へ

4月には松江・出雲の市議選

今年中間選挙が連続し、4月には、松江市、出雲市の市議選、奥出雲町、隠岐の島町、邑南町で町議選が行われます。松江市議選には、現職の橋本祥朗、吉儀敬子市議が2期目をめざし、片寄直行市議の後継を継ぎ、新人の田中肇氏が立候補を予定。現有3議席死守のたたかいとなります。出雲市議選には、井原優市議が3期目をめざし、新人の後藤由美、吉井安見の両氏が立候補を予定しています。小村吉一市議は今限りで勇退

し、現有2議席から3議席を回復するたたかいとなります。奥出雲町、邑南町では、現有1議席の確保に挑み、隠岐の島町では空白克服をめざします。7月には、飯南町、美郷町で町議選が行われ、飯南町では現有1議席確保をめざします。美郷町では空白克服に挑む予定です。10月には、安来市、浜田市、吉賀町で町議選と、相次いでたたかわれます。安来市では、昨年10月の補欠選

くらしと命を守ります

党員 尾村 利成
幹事長 大國 陽介



政治には県民の命がかかっています。新しい年もみなさんと固く団結し、「くらしと命を守る議席」として全力で奮闘する決意です。安倍政権は、給付をカットする年金の改悪、ギャンブル依存症を増や

すカジノ法、日本の経済主権を多国籍企業に売り渡すTPPなど、国民の大多数が反対した3悪法をゴリ押ししました。いくら多数を持つ政権・与党でも、何でも数の力で押し通すことは許されません。県議の仕事は、県民の命と安全を守ることです。県民のくらしが困難に直面している時、安倍政権のすずめる間違った政治を県政に持ち込むのか、それとも、それに立ちまはだかつて、県政が県民のくらしの防波堤となる役割を果たすのか、鋭く問われています。

県政は、国に対して、県民の立場で発言し、行動し、国いなり政治から脱却し、「住民の福祉を増進する」自治体本来の役割を果たすべきです。昨夏の参院選で、32の1人区のうち11選挙区で勝利したのに続き、秋の新潟県知事選では、楽勝ムードだった自公推薦候補に6万票以上の大差をつけて勝利しました。「野党と市民の共同」にこそ安倍政権を倒す希望があります。日本共産党は、来るべき解散・総選挙で野党共闘を成功させるために全力を挙げます。共同をさらに発展させて、「原発ゼロ」「くらし最優先」の安全・安心の島根を一緒につくります。

挙（無投票）で得た議席と合わせ、複数議席に挑戦します。

安倍政権 NO!

「しまね総がかり」が集会 野党代表らがスピーチ



「安保関連法（戦争法）の廃止を求めるしまね総がかり行動実行委員会」は12月19日夕、JR松江駅前で集会を開きました。120人が集い、国民の声を聞かない強権

浜田市、吉賀町では、現有1議席の確保をめざします。

政治をすすめる安倍政権に「ノー」の意思を示しました。リレートークで、日本共産党の尾村利成県議は「安倍政権の暴走を止めるには市民と野党の共闘を強めるしかない」と強調し、「お互いを信頼し、心を一つにして野党連合政権をつくらう」と呼びかけました。（写真）

民進党からは亀井亜紀子県連副代表が、社民党からは芦原康江市議が訴えました。

防衛局に 低空飛行訓練中止を要請

大平 議員、むこせ 予定候補らが要請

日本共産党の大平喜信衆院議員と衆院比例中国の垣内京美予定候補、中国5県の衆院小選挙区予定候補らが12月22日、中国四国防衛局（広島市）を訪れ、米海兵隊

11月県議会質問（続報）

尾村利成、大國陽介の両県議の2016年11月県議会質問の続報です。

尾村県議の一般質問

■厳正な基準地震動設定を

原子力規制委員会が昨年11月の審査会合で、宍道断層東端やその延長部分の精査を中国電力に要求したことを踏まえ、尾村県議は「境水道や美保湾東方の海域における徹底した活断層調査と震源断層に迫る広域的な地下深部構造を解明し、厳正なる基準地震動の設定を」と要求しました。岸川慎一防災部長は

大國県議の一問一答

■水道料値上げ抑制を

国の強力な誘導策の下で、県内すべての市町村で簡易水道と上水道の統合が進められている問題で、大國県議は「国からの支援や一般会計からの繰入で成り立ってきた簡易水道が、独立採算を基本とする上水道に統合されれば、水道料金の値上げが予想され、実際に値上げを決めた自治体もある」と述べ、「住民にとって質はもとより、料金でも安心できるように、国に要望すべき。生活困窮者・低所得者に対する水道料金の減額、補助が実施できるように市町村と協議・検討すべきだ」と求めました。溝口知事は「制度の見直しを引き続き、国に要望していく」と答弁し、県内水道事業の連携については「市町村と幅広く協議・検討する場を設けており、今後、よく研究していきたい」と答えました。



映画上映
「戦場ぬ止み」
2月19日(日)
13:30~
プラパホール(松江市)
問い合わせ先
中林(Tel:0852-25-5347)